

# みんなでいっしょにのりこえよう！

## ～ 野幌若葉のコロナ対策 ～



〈令和2年度6年生による「全校元気プロジェクト～玄関前チョークアート～」HBCの『今日ドキッ!』で取り上げられました。〉

コロナ禍の中、感染症対策をしながらの学校生活が続いています。

子どもの安心・安全を守るため、本校でも手洗いや手指消毒の徹底、3密を避ける指導、こまめな換気など様々な対応をしています。

今後も道や市の状況に合わせ、適時適切な対策となるよう検討を重ねていきます。

本校のとりくみをいくつか紹介します。

### ○玄関前の密回避



ちょっと見づらいかもしれませんが…玄関前の地面に目印のマークをつけています。朝、開錠前に並ぶ位置の目安となります。「若葉小」らしく、葉っぱとテントウムシのデザインです。登校時も密を避け、早く来すぎないように呼び掛けています。

### さらに、緊急事態宣言期間は…

玄関内が込み合わないよう、4つの入り口から10人ずつ入校しています。

## ○玄関内の密回避



これまでは学級ごとに靴箱を割り振っていましたが、下校時や体育で外に出る時などにどうしても込み合っています。そこで、靴箱を上・中・下段の3つに分け、一つのクラスが横に広く使えるように工夫しました。

密を緩和するとともに、スムーズに脱ぎ履きする事で接触時間の短縮にもなります。

### さらに、緊急事態宣言期間は…

下校時に学級を3つのグループに分け、時間差で玄関に向かう事で密を避ける工夫をしています。

## ○毎日の健康観察、朝の手洗い・うがい、マスクの着用など「学校の新しい生活様式」の励行・徹底



家庭での朝・晩の検温、体調チェック。

マスクの着用など、国や道、江別市の方針に沿った対応をしています。体温計も非接触型のものを用意しています。登校時は教室に入る前にうがい・手洗いを行います。

### さらに、緊急事態宣言期間は…

水場の密を避けて水分補給ができるよう、水筒の持参を呼び掛けています。鼻をかんだティッシュのごみなどは個別の持ち帰りをお願いしています。

## ○座席の間隔を広く



教室では座席を個別に離し、間隔をなるべく広くとる工夫をしています。給食時もグループを作らず、個別に前を向いて「黙食」しています。(早くワイワイと楽しく交流できる日々に戻ってほしいものです…。)

### さらに、緊急事態宣言期間は…

密接状況でペアやグループでの話し合いを行わない。室内ではリコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏をしないなどの工夫をしています。

## ○首振り式のサーキュレーター、網戸、



各教室に2台ずつ首振り式のサーキュレーターを設置し、換気の効率化と室内の温度を保つ工夫をしています。

また、全ての窓に網戸を設置したことで、虫を気にせずに窓を開けられるようになりました。

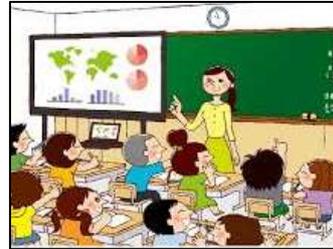


### ○遮光・遮熱カーテン

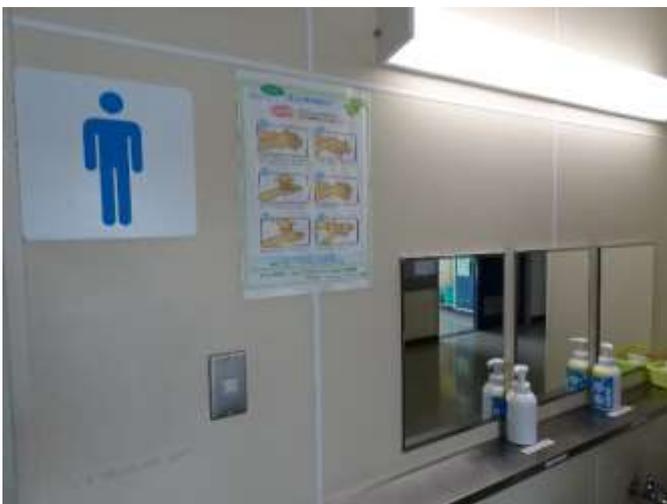


カーテンを遮光・遮熱タイプにすることで、夏の日差しの熱さや、冬の換気時の室温低下を抑える工夫をしています。

光の反射が低減され、教室の大型ディスプレイも見やすくなりました。



### ○正しい手洗いができるように



手洗い場には「正しい手洗いのしかた」のポスターが掲示されています。

石けんは固形のものとはポンプ式のもの2種を設置し、用途に合わせて使えるように工夫しています。

蛇口も接触を減らすためにレバー式に換えました。



### さらに、緊急事態宣言期間は…

朝・中休み・給食前・昼休みなど、一日に複数回の手洗いの徹底を図っています。学年で場所や時間をずらすなど、密を避ける工夫もしています。

### ○飛沫感染対策のパーテーション



図書室や理科室では卓上パーテーションを置くことで、飛沫感染リスクの低減を図っています。

持ち運びしやすいタイプのものを選ぶことで、児童の学習場面だけでなく、打ち合わせや会議、面談を行う際など様々な場面で活用しています。

### さらに、緊急事態宣言期間は…

原則、学級のみでの活動とし、学級や学年をまたぐ場の共有を避けています。

### ○共有スペースの利用について



共有スペースを使う場合は、「使用前後に手を洗う。」「極力、物の共用をしない。」「使用後の物品を消毒する。」「並ぶ場合は間隔をとる。」「できるだけ短時間の利用とする。」などの工夫をしています。



#### さらに、緊急事態宣言期間は…

休み時間の図書室と体育館の利用割り当てを決め、接触機会を減らしたり、密状況を防いだりする工夫をしています。

### ○掲示物の工夫



子どもが興味を持って見られるようにしたり、熱中症対策と関連させて先生方が活動内容を判断したりできるよう、掲示物の工夫をしています。

上の写真はソーシャルディスタンスで求められる2 mの距離が実感できるようになっています。

### ○来校時の手指消毒、来校者の把握



外部からの来校者には手指の消毒と、接触情報を追えるよう来校者名簿への記入を求めています。

#### さらに、緊急事態宣言期間は…

外部の方の校内への立ち入りは原則お断りしています。お迎えの方も外でお待ちいただくようお願いしています。



## ○まだまだあります。本校の工夫

- ・異学年の場の共有を避けるために集会を放送集会に代える。
- ・児童委員会の活動を縦割りではなく各学年ごとに進める。
- ・PTA 活動の内容の見直しを図る。(ベルマークを Web ベルマークに変えるなど)
- ・バス移動を伴う学習ではバスを増便する。
- ・家庭科室に滅菌保管庫を導入する。
- ・スクール・サポート・スタッフによる消毒、清掃の徹底。
- ・緊急事態宣言期間中は日課を短縮し、接触時間を少しでも減らす。

などなど、他にもあらゆる取り組みで「with コロナ」を意識した工夫と改善を進めています。

最後に、今年度6年生が行った図工の取り組みを紹介します。

さがしてみよう！

2021.5.14

6年生が、全校のみんなに楽しんでもらおうと、学校のあちこちに図工の作品をかざっています。見る場所をくふうすると…？さて、どんな風に見えるでしょう♪



あれ？何だろう？これ。

あ！星だ！！  
それともトゾかな？

見る位置を変えると…？

ニワトリがたまごをうんでいるよ！

万華鏡写輪眼！  
…って、みんな分かるのかな？

なんだ？これ～w

どこに、どんなものがあるかさがしてみてね♪

おしゃべりせずに給食…  
くっついて遊んじゃダメ…  
兄弟が欠席したら自分も欠席…

コロナ禍の中、子ども達にとっても、不便なことや、がまんしなくてはならない事がたくさんあります。

そんな中、「少しでも全校のみんなに明るく過ごしてもらおう」と、最高学年の6年生が工夫してとりくみました。

下の学年の子ども達が、校内のあちこちで作品を楽しむ姿が見られました。

現在も、児童会書記局が中心となり、みんなで笑顔の絵を描いてポスターにする「スマイル活動」が企画されています。

本校の目指す学校像である

「子どもが真ん中に

みんなが輝く学校」

の実現のため、今後も柔軟な発想で創意工夫をしていきます。

〈文責 主幹教諭 竹田睦生〉